

中学校統合に関する
教育委員会だより

平成30年5月25日
NO. 8
発行：別府市教育庁教育政策課

**別府市立山の手・浜脇統合中学校（仮称）の
工事が今年7月（予定）から始まります**

皆様方におかれましては、平素から別府市の教育行政の推進にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

別府市立山の手・浜脇統合中学校（仮称）の建設につきまして、ご説明いたします。

「思いやりを育み、地域とともに歩む学校」
～みんなが行きたい みんなで育む みんなの学校～

この基本コンセプトの基にテーマを作成し、設計に配慮いたしました。

テーマ①「人にやさしい「生きる力」を育む学校」として

普通教室は学年のまとまりを確保し、教室前には教育活動にも利用できるロッカースペースを配置し、生徒同士、また生徒と教員、クラスを超えた交流を図ることができます。

特別教室の前には学習成果物や生徒の作品等の展示や教科毎の展示が行えるスペースとしてメディアスペースを設けます。

情報活用能力を育み多様化する課題に創造的に取り組む力を育成するため、図書館とコンピュータ室を組合せメディアセンターとして学校の中心的位置（昇降口近く）に設け、放課後や夏休み等の積極的な利用を可能としています。

多目的ホールは、学年集会や生徒の発表の場としての活用が期待されます。

テーマ②「学校と地域社会をつなぐ「別府らしさ」のある学校」として

山の手・浜脇地区を代表する新たなシンボルとなる新校舎は、低層部をレンガ色のタイル貼り、2階から4階は白を基調に清潔感のあるデザインとします。レンガ色やコンクリート打放し、白色といった要素は近代建築物として別府らしさの残る旧別府市役所西庁舎や別府市公会堂のデザインを継承しています。

海の門と山の門を結ぶプロムナードは、廃止となる道（西小学校の校庭と校舎の間を通る秋葉通線の一部）を思い出させ、生徒や地域住民が行きかう賑わいの道として整備します。

コミュニティ・スクールを導入することにより、保護者や地域住民とともに知恵を出しあい、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える学校づくりを進めます。

学校と地域社会をつなぐ「別府らしさ」のある地域開放ゾーンとして、多目的ホールを、総合型地域スポーツクラブ等の活動の場として予定しています。また、体育館エリアに備蓄倉庫とコミュニティルームを設け、大規模災害時には、多目的ホールとともに保護者や地域の皆さんが安心していつでも集うことができる地域の核としての機能を持たせます。

家庭科室は体育館と組合せ、炊出しの場所として使えるよう 1 階に配置します。さらに、プールを3階に配置することにより、災害時、体育館内のトイレとマンホールトイレの水を供給します。

テーマ③「環境に配慮した学校」として

省エネルギー化の工夫として、建物の形状は、東方向の別府湾や北西方向の山並みに対する眺望や時間により変化する卓越風を捉え、眺望や自然通風を生かせる L 型の形状となっています。

また、コンクリート打放し仕上げの窓上庇は夏の暑い日差しをカットし、日射を調整します。

（完成イメージ図）



○統合に向けてのスケジュール

2018年度：・西小学校と西幼稚園の解体工事(7月～)予定

・校名、校章、制服などを協議し決定

2019年度：・新築工事、道路拡幅工事(～2020年度) ・生徒交流開始

・通学路の検討開始

2020年度：・グラウンド整備工事 ・校歌完成披露 ・PTA交流開始

2021年度：・開校(4月)

○秋葉通線の一部廃止

西小学校校舎とグラウンドの間の道路が統合中学校の敷地となるため、平成30年7月1日(日)予定から通行できなくなります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



○西小学校解体工事に伴う指定避難所の変更

西小学校の解体により、今まで西小学校を避難所としていた、西地区・南地区・浜脇地区の自治会については、7月1日(日)から統合中学校完成までの間、「別府市公会堂」「山の手小学校」を避難所とします。